

## 2 情報発信について

### (1) ホームページでの市民への情報発信はー

**(質問)** 感染症に関し、市民から多く寄せられる質問への対応方法および外国籍の市民への適正な情報発信について問う。

**(答弁)** 市民から本市に寄せられた意見や質問などの内容を、「新型コロナウイルス感染症に関するよくある質問」として取りまとめ、ホームページで公開している。

外国籍の市民には、感染症に関する情報をはじめ、有益な市の情報などを正確・迅速に提供できるよう、外国籍の市民向けのページ「Amigo SUZUKA」を作成して公開している。併せて、Facebookも新たに開設している。

県と共に、外国籍の市民への取り組みについて協議し、鈴鹿国際交流協会や外国人関係団体など、庁内関係部署との積極的な連携を図り、言語や文化・生活様式の違いを踏まえながら、丁寧な情報発信に努め、感染防止対策の徹底を図っていく。



### (2) 情報弱者への発信方法はー

**(質問)** ホームページにアクセスして情報取得するのが難しい高齢者をはじめ、情報弱者と言われる方には、従来からの回覧板など、紙媒体での情報共有や、マスコミを通じた効果的な情報発信を考えるべきではないか。

**(答弁)** 月2回発行している「広報すずか」は、発行に至るまで一定の期間を要するため、即時性を確保することは難しい。報道機関による情報は、高齢者や情報弱者など、あらゆる方々がテレビやラジオを通じてタイムリーに情報を入手することが可能であることから、記者会見や資料提供など、報道機関に対して積極的に情報を発信していきたいと考えている。



### (3) 保健所との連携はー

**(質問)** 新規感染症患者などの情報発信について、市民への対応が遅いのではないかと意見が多く聞く。鈴鹿保健所との連携方法および今後の取り組みを問う。

**(答弁)** 当初は、県および鈴鹿保健所から情報が速やかに提供されないなどの理由や、誤った情報や誹謗中傷のSNS上での拡散などから、市民の不安感が増した。県への要望の結果、感染者が急速に増加した7月中旬以降は、県から各市町に対し、個人情報保護への最大限の配慮とともに、適切かつ迅速に情報が提供されている。

11月に県が組織した「新型コロナウイルス感染症クラスター対応チーム」には、本市も参加要請を受けて関係職員が参加している。今後も、さまざまな機会を通じて、職員のスキルアップを図り、本市の取り組みに生かしていく。

## 3 PCR検査について

### (1) 臨時外来検査センター（PCR検査センター）の状況はー

**(質問)** 本市で運営されている臨時外来検査センターについて、どのような経緯で現在に至っているのか問う。

**(答弁)** 鈴鹿市医師会が運営主体の「鈴鹿市PCR検査センター」は、令和2年6月15日から業務を開始した。検査件数は、当初1日当たり数件で推移していたが、第2波を迎えた8月には最大で1日21件の検査を受け付けるなど、鈴鹿保健所の検査体制を補完する重要な役割を果たした。

しかし、感染症の終息に目途が立たず、冬季に

は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行も想定されたため、本市が県から直接委託を受け、当センターを運営することと判断した。庁内の機動的な人員配置により健康づくり課に職員3名を配置し、11月1日付けで鈴鹿市臨時外来検査センターとして業務を開始している。冬季の流行拡大期に備え、1日最大40件程度の検査が可能となるように、現在、検査能力の向上を図っている。

